

開催の趣旨及び参加者の役割について

- ・このワークショップでは、これからの三田市の「まちづくり」についてみなさんに考えていただきます。「まちづくり」とは、今よりもさらに住みやすいまちや地域にするために、良い点をのばし、良くない点を改善していくことです。市民や企業、学校、行政などがちからを合わせることによって、よりよい「まちづくり」になります。
- ・この「まちづくり」の指針となるものを「総合計画」といい、三田市の「まちづくり」は、この「総合計画」に沿って行われます。これにより様々な分野の取り組みを、一つの方向性のもとに計画的に推進していくことができます。
- ・今回のワークショップで皆さんに「まちづくり」について共に考えていただく趣旨は、市民が主役となって取り組むまちづくりの一環として次のような共通体験による共同作業を行い、その結果を総合計画づくりに生かすことにあります。

【共同作業のルール】

- 1) あるテーマについて思い付く情報をできるだけ出し、カードに記入していきます。
- 2) 机上で関連する（類似する）と思われるカード同士にグループ化し分けていきます。
- 3) 出来たグループに表題を記入します。
- 4) 配置を整え、グループ間の共通点などを考えます。
- 5) それらの関連をよく考え、整理します。また、それらをじっと眺めているうちに新しいアイデアが出てくれば追加します。
- 6) 作業に当たっては、協力し合いながら、お互いの意見を聞いて、よりよい意見を出し合うよう努めましょう。

【第1日】

作業1：各テーマにおける三田の「良い点」「良くない点」をさがしましょう。

- ・「わがまち さんだ」等を参考に
- ・「良い点」：自慢できる点、好きな点
- ・「良くない点」：自慢できない点、嫌いな点

作業2. 各テーマにおける「目標（未来像）」を考えましょう。

- ・「「良い点」をどうのばし活用して、誰が・何がどういう状態になることをめざす。」
- ・「「良くない点」をどう改善し、誰が・何がどういう状態になることをめざす。」

作業3. 目標（未来像）を実現する「手段」を考えましょう。

- ・なるべく「市民ができること」「私たちができること」（市民像）をイメージしながら手段を出しあう。

【第2日】

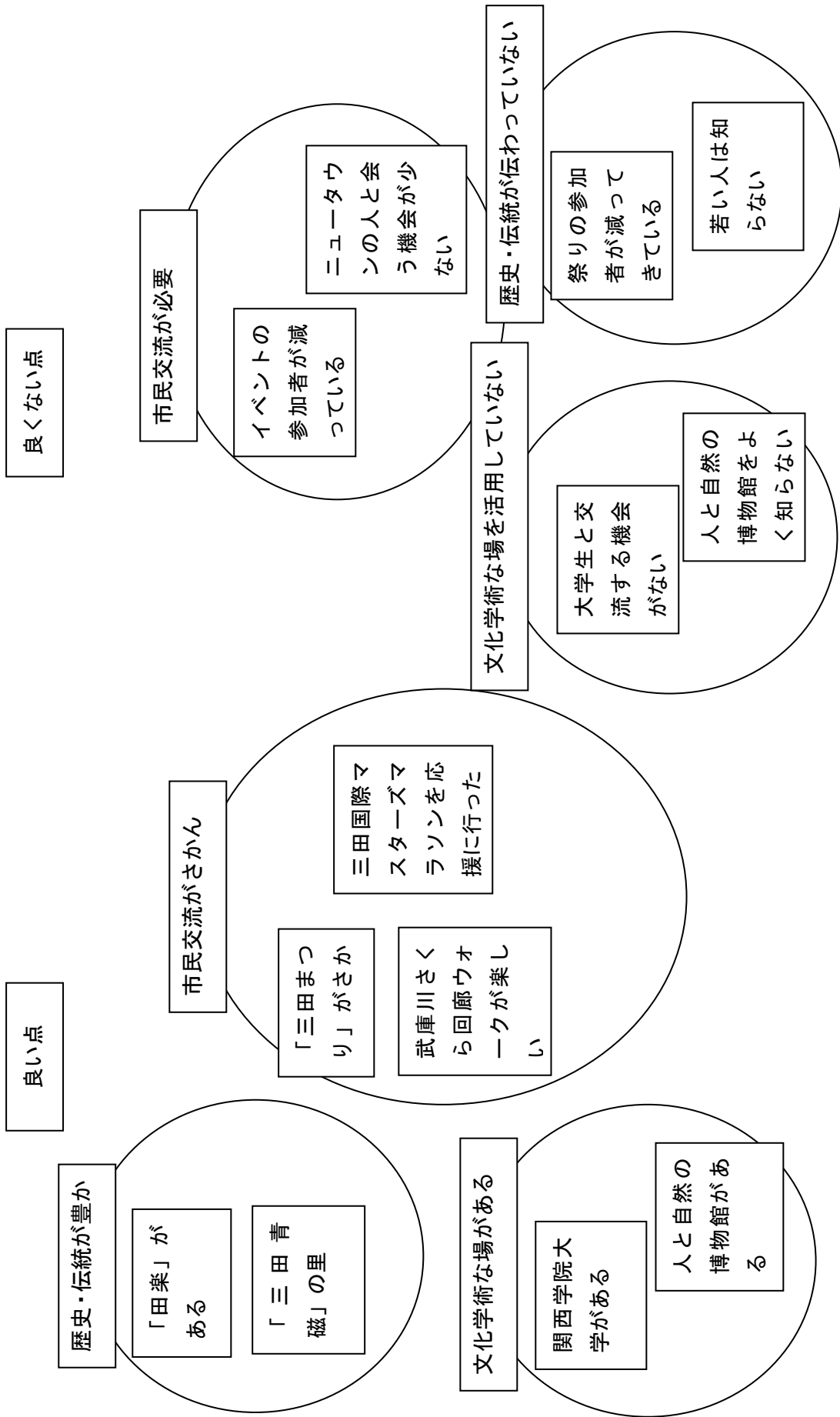
各グループのワークショップの結果の発表・意見交換



【例】

発表用：1

作業1：各テーママにおける三田の「良い点」「良くない点」をさがしましょう



【例】

発表用：2

作業2. 各テーマにおける
目標（未来像）をきめま
しょう

作業3. 目標（未来像）を実現する
手段を出しましょう

提案書

部会名	第4部会：新しい市民文化のまち	第4部会用
-----	-----------------	-------

目標（未来像）	手段
①伝統や文化の良さを次世代に伝え、彼らが主体となって参加・参画していることをめざす	<ul style="list-style-type: none"> ・まず若者に伝え、仲間を増やす ・PR等の支援をする ・協賛金等の支援をする